

専修大学LLだより

第1号 1999年4月

創刊によせて

LL研究室が『専修大学LLだより』を出すことになった。皆さんが手にしているのが創刊号である。今年度は6回くらい不定期に出すことになっている。LL研究室では機器を活用した語学教育を行っているが、その活動の中身となると、知る人はかなり少ない。この『LLだより』ではLL研究室でどんなことが行われているか、その一端を読み取ることができるようになる。その意味では、これはLL研究室の広報誌的役割を果たす。号を重ねるにつれて、一方的な伝達だけでなく、読者の意見を掲載したり、読者からの質問に答えるコーナーが設けられるかもしれない。さまざまなアイデアがすでに出ている。

本学のLL研究室は「LL教室」、「LLテープライブラリー」、それに「LL事務室」に大きく分けられる。「LL研究室」は教務課の管轄下にある正式名称であり、「LL教室」は教室、「LLテープライブラリー」はLL研究室の図書館、「LL事務室」はLL研究室の事務所である。

LL研究室では授業を行うだけでなく、語学教育に関する論文を発表したり実践報告などを行っている。その機関誌は『外国語教育論集』である。昨年度はLL研究室主催のワークショップを初めて開催し、そのプロシーディング（発表論集）を発行した。このワークショップは全国向けの大規模なものであったが、成功裏に終わった。また、ワークショップでは15名の発表者がいたが、これは賞賛に値するものである。一大学のLL研究室主催のワークショップで、発表者がその研究室のメンバーだけで15名もいたというのは、専修大学が初め

てではないだろうか。LL研究室はワークショップをこれからも毎年開催し、大規模なものや小規模なものを隔年で行うことになっている。

LL研究室のライブラリーには語学教育に必要な教材がたくさん備えてある。教材は多種多様で、語学書籍、雑誌などはもちろん、カセットテープ、ビデオテープ、CD-ROMなどである。専大で開講されている外国語であれば、教材で不自由することはほとんどない。外国語を習得しようと思えば、このライブラリーを大いに活用したほうがいい。

コンピュータを活用した語学学習用ソフトも最近は増えているが、そのソフトもLLライブラリーにはたくさん備えてある。コンピュータの扱い方を少し学ぶだけで、新しいテクノロジーに対応したソフトで語学学習ができる。コンピュータに詳しくない学生や教員のために、基礎的なコンピュータ講習会が年に2、3回ほど行われている。講習会への参加は、無料。

このように、LL研究室では語学教育のためにさまざまな活動をしている。この活動の一端が『専修大学LLだより』では取り上げられる。さらに、LLライブラリーの教材や新刊なども紹介される。語学教育に寄与する題材は、身近に豊富にある。どんな教材を取り上げるにしても、切り口が問題である。鮮やかなお手並みが毎号、感じ取れるような『専修大学LLだより』であってほしい。この創刊号がどのように発展していくか、楽しみである。

LL研究室長

経営学部・教授 根間弘海（英語）

映画は最高の英語教材!!

LL教材紹介

映画「タイタニック」を観た人は多いと思います。レオナルド・ディカプリオやケイト・ウィンスレットのセリフは聞き取れましたか？ 2人はとても聞き易い英語を話しています。「ディカプリオの英語なんか私には絶対聞き取れるようになれない」などと諦めないで下さい。映画の英語は難しい、と言われるますが、生田校舎LL教室テープライブラリーで利用できる2種類の教材を使えば、卒業する頃には、日本語字幕なしで「タイタニック」の英語が楽しめるようになります。

映画の英語を理解するには、まずは、クローズド・キャプション (closed caption)。クローズド・キャプションというのは、話されたセリフをテレビ画面に表示するための英語字幕信号です。これがあれば、リスニングが不得意な人でも、聞き取れなかった英語を文字で確認できます。分からない単語の意味も、綴りをテレビ画面で確認できるので、英和辞典を調べて意味を確認できます。大ヒットした「タイタニック」のビデオにも、クローズド・キャプションが付いています。ただし、テレビ画面に英語の字幕を表示するには、1万円の字幕表示装置が必要となります。これをビデオとテレビの間に繋げれば、日本のレンタルビデオ店で借りられる200本以上の映画ビデオが、<英語教材>に変身します。自分の大好きな映画をクローズド・キャプションを表示した状態で、何度も繰り返して観れば、英語のセリフが自然に暗記できます。日本で販売されているクローズド・キャプション付きビデオ・レーザーディスク映画の一覧表がインターネット (<http://www.ifm.com/closed-caption/>) で確認できます。生田LL教室テープライブラリーには、

42本のクローズド・キャプション付き映画ビデオが用意されています。

「英語の字幕を読んでも難しくて分からない」という人には、映画シナリオ教材があります。映画シナリオ教材では、難しい単語や口語英語表現について詳しい説明が付いています。英語のセリフの隣には、日本語の訳もあるので、セリフの意味の確認が簡単にできます。生田LL教室テープライブラリーには、30冊の映画シナリオ教材が用意されています。

映画やテレビドラマを教材に使った英語学習は、内容が面白いので、長続きします。まずは、無料で利用できる生田LL教室の映画教材を全部使い切って、口語英語に慣れて下さい。

商学部・教授 佐藤弘明 (英語)



耳を信じて 楽しく 学習しよう

LL教材紹介

LL 教室テーブルブライラーを利用する学生の中には語学学習の悩みをもち相談に来る者も少なくない。学生の目的に応じた教材、学習方法を一人一人の立場に立ち一緒に選びアドバイスをする。主に留学を目前にして学習方法に悩んでいる学生、もちろん英会話を上達したい、TOEFL、TOEIC の点数アップのためなどなど。そんな時まずは耳を柔軟にすることを勧める。聞き取れなくては会話も授業も、自分の意思も伝えられない。

色々な人の英語を聞いて耳を慣らす。そのための教材として ENGLISH JOURNAL EJ インタビュー（月刊誌）を推薦する。ヒラリー・クリントン（ファーストレディ）、ビル・ゲイツ（マイクロソフト社 CEO）、スティング（シンガー）などの各界著名人のインタビューが紹介され、登場人物も個性的で魅力にあふれた話し手が多い。

学習にあたって、上手な英語やおもしろい英語、そして心に残る英語がたくさん出てくる。個人的には一番ためになったのがヒラリー・クリントンの 1993 年ペンシルベニア大学の卒業式で述べた祝辞であった。人生をマラソンに例えたはなむけの言葉は素晴らしく感動した。自分の興味あるインタビューを聞く時に生じる英語を理解しようとするエネルギーは大きいもの、「おもしろくてためになる英語」として役立つのではないかと思う。このように楽しんで色々な国の人が話す英語で耳を鍛えて、どんな英語も聞き取れるように学習できる ENGLISH JOURNAL。

教材の利用法としては最初にテープを聞き、解らない単語などを日本語解説のテキストで確認する。

このテキストにはレベル（スピード、語彙、発音）が記入されているので自分で理解度も

チェックできる。

自分の学習場所、良い教材の揃っている LL 教室テーブルブライラーを利用して欲しい。

英語をはじめとしてドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、日本語、韓国語、インドネシア語などの教材を備えてある。

みなさんの学習に役立つ、満足できるような LL 教室テーブルブライラーにしていきたいと思う。気軽に立ち寄りしてほしい。

LL 事務室 高橋 隆子

卒業生からのひとこと

私は大学に入学する前から第 2 外国語はスペイン語を選択しようと決めていた。そして、中学、高校で習った英語のように読み書き中心ではなく、言葉本来の目的である、コミュニケーション力を身につけたいと思っていた。入学して間もなく LL 教室利用案内を見ていると、私の目に飛び込んできたのは「テーブルブライラー」という聞き慣れない言葉だった。一体、それは何なのか？早速その正体を確かめに行った。そして、そこで私がみたものは所狭しと並べられている、語学の教材だった。英語は勿論、独、仏、西、中、韓等。本学で授業が行われている外国語の教材が豊富に用意されていた。この時私は、これを利用する他に有益な勉強方法はないと思った。

早速、私は当時授業でも使用していたスペイン語のビデオをみるようにして 1 年間勉強続けた。その結果、1 年後にはコミュニケーションという点においては英語に負けにくい成果を上げる事ができた。テーブルブライラーは私にとってとても有り難い存在だった。

法学部 長谷川 知美

LLあれこれ

ワープロと中国語教育

従来、中国語は、ワープロが使いにくい領域であった。中国では、周知のように、簡体字が用いられている。また香港・台湾地域では、伝統的な繁体字(旧字)が用いられている。単にフォントをとっても、日本語ワープロの対応できる範囲を超えていた。勿論、日本語ワープロの文字入力システム(IME)では、中国語のスムーズな入力は到底不可能であった。しかし最近、中国語の分野でも、ワープロは有効な道具へと進化してきている。日本語ウィンドウズ上で動く中国語ワープロソフトも、充実してきた(高電社「チャイニーズライター」・オムロンソフトウェア「こうんぬ」等)。また予定されているウィンドウズ2000は、それ自体が多言語対応を実現する、つまり中国で使われているワープロソフトをそのままインストールして用いることが可能になると伝えられている。こうした技術革新によって、中国語ワープロは、確実に身近なものとなって来ている。

中国語の教員の一人である私にとって先ず有り難いのは、試験問題を、少しでも読みやすい体裁で学生に提供できることである。しかし中国語ワープロの利用効果は、このような次元に矮小化されるものではない。中国語を媒体としたメールのやり取りから始まって、中国人との文化情報の交換が、一気に緊密化されることになる。中国の新聞をインターネット上で見てから大学に来ることぐらいは、やがては熱心な

中国語学習者の常識となるであろう。コンピュータは、英語の上で動くものであった。つまり、コンピュータ自体は単なる道具であるかに見えて、実はそこに流通する情報は、英語を使用する(しうる)人々の文化の情報に限られていた。

しかし今、コンピュータの多言語対応化とともに、日本、あるいは中国といった、テクノロジーの未熟さのために従来は脇に追いやられていた地域の文化が、正当に自らを主張する機会を持ち始めている。この変化の意義を、正視しなければなるまい。語学学習の効果は、その言語を通じていかに未知の世界と密接に接触できるか、という知的好奇心によって深められる。この点で、中国語ワープロ、ないしは中国語情報処理の進歩と普及は、その使い次第では、中国語教育の中にいくらかでも積極的な役割を果たし得るものと思われる。

文学部・教授 松原朗(中国語)

LL教室Dで中国語ワープロを 体験してみませんか?

D教室には語学学習のために、マッキントッシュが20台備えられています。D教室は自習でも使用が可能です。使用できるのはD教室授業受講者の他に、講習を受けた人に限りです。まずは講習会に出てみましょう。

講習会は5月以降に実施される予定です。

詳しくは掲示等に注意してください。

LLあれこれ

外国語上達法を探る

外国語は苦手とと思っている人はいませんか。でも、どうしてでしょう。

たくさん勉強しているのにちっとも身につかないとか、どうも読むのは苦手だとか、どうしても聴き取りがうまくいかないとか、どうしたら外国語をうまく学べるのかなんて考えたことがありますか。本当に外国語上達法なんてあるのでしょうか。

まず最初に、ちょっと考えてみましょう。外国語の教室でのいい学生ってどんな学生でしょうか。外国語の勉強にたくさんの時間をかけている人でしょうか。試験でいい成績をとる人でしょうか。それとも、自分の努力に対して最大限の結果をだし、外国語を学ぶために教室内、教室以外でのあらゆる機会を利用する人でしょうか。3つともそれぞれ正しいと言えるでしょう。しかし、ここでは第3の姿勢にスポットを当ててみます。

自分の努力に対して最大限の結果を出すために必要なことは何でしょうか。第一に、なぜ外国語を学ぶのかという目的を問いかけてみましょう。その目的が具体的であればあるほどそのための努力をしようと考えます。もし、目的がないなら、自分で探してみましょ。

外国語学習には色々な方法があります。授業で活発に活動するのが好きな人、おしゃべりが好きな人、宿題等の課題をやるのが好きな人、読むのが好きな人、テレビ、映画等が好きな人、言語構造そのものに興味を示す人、まだまだ挙げることは可能でしょう。自分が好きなものに力を入れること、これが一番の近道と思われます。

外国語を学ぶためのあらゆる手段を教室内、教室外で見つけてみましょうか。それぞれの外国語には色々な辞書、教材があります。特に英語についてはありとあらゆる

教材があり選択に困ることもあるでしょう。目的、方法によって選ぶ教材も変わります。外国語学習の先輩たちに尋ねてみるのが一番いい方法です。LL研究室が4月から始める学習相談を大いに利用することを勧めます。

教室外ではどうでしょうか。今日ではインターネットの普及で、あらゆる世界とのつながりがいつでも可能になっています。こんな手段を利用してそれぞれの言語が話されている世界と接触してみることは、文化的なことを知る上でも重要です。さらに衛星放送の普及によって教室以外で外国語と接触することが可能になってきました。文字の世界を見てみれば、原書も手に入りやすくなったと言えます。原書でなくても、その文学等に接し、それぞれの言語の背景にはどんな文化があるのかを感じとってほしいと思います。それが、外国語学習においても必ず役に立つはずですよ。

外国語上達法というのは自分に適した学習手段、方法等を見つけ出すことから始まります。外国語の授業を通して、LL教室テラライブラリーを通して自分だけの外国語上達法を早く見つけてほしいと思います。

経営学部・教授 大森 洋子(スペイン語)

LLだよりはみなさんの声を募集しています。

LLだよりの感想や希望、ご意見がありましたら、400字程度にまとめて投稿してください。お待ちしております。

LLインフォメーション

LL教室めぐり

LL教室ってどんなところ？

オーディオテープ、ビデオを用いて語学学習のできる教室で、パソコンによる教材提示、テストの結果の分析等ができる教室です。全世界のビデオも見ることもできます。また、同時通訳の訓練ができるように工夫されています。D教室はマルチメディアに対応してパソコンを備えた教室です。また、E教室は自習用としても開放しています。

A	教室	56席
B・C	教室	48席
E	教室	20席
D	教室	20席

テープライブラリーの利用

LL教室にはたくさんの教材が揃っています。自習も可能です。

教材の利用はLL教室自習室に限ります。ルールを守って楽しく学習しましょう。

利用時間 9:00 ~ 16:30
火・水・金 9:
00 ~ 17:30 月・木
9:00 ~ 11:30 土

(時間の変更や閉室日についてはその都度掲示します。)

語学学習相談開設

語学学習相談に参加しよう

語学学習に対して意欲や関心を持ちながらも、どのような教材を利用したらいいのか悩み、立ち止まっている人はいませんか？

LL研究室ではこのように人を対象に語学学習相談を開始します。

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語学習について相談を受け付けます。外国語学習の思いがけないヒントが見つかるかもしれません。

(詳細はLL事務室へ)



LLだよりが誕生しました。皆さんとともに歩いていきましょう。

専修大学LLだより 第1号

発行日 1999年4月1日

編集発行 専修大学LL研究室

室長 根間弘海